

LS-8800 をご利用の皆様

LS-8800 リリースノート(Ver.2.41)

2015年7月27日

白山工業株式会社

この度、LS-8800 のファームウェアがバージョンアップされました。今回のバージョンアップでは以下の機能が追加されています。

今回のファームウェア変更は、2015年7月27日以前に出荷された全製品が対象となります。

- インストールの前に
ファームウェア Ver.2.00～Ver.2.11 の LS-8800 と TP-8800 を接続してご使用されている状態で Ver.2.41 へのアップデートを行う場合は、お手数ですが LS-8800 と TP-8800 を切り離した状態で行っていただくようお願いいたします。
接続した状態でアップデートを実施した場合、アップデートの途中から先に進まなくなる不具合がありますのでご注意ください。切離した状態であれば不具合は発生しません。
なお、この不具合は Ver.2.20 にて修復されております。
- ファームウェア構成
各ファームウェアのリビジョン
Firmware : 3105, FPGA : 2716, I/O : 3017, Bootloader : 2998
- 機能追加
測定データ上書き機能を追加しました。
これに伴い、デフォルト設定に「測定データ上書き機能 ON」が追加されました。

【概要】

測定開始時及び測定データ記録時に、SD カードの空き容量が少ない場合、古い測定データを削除し、新しい測定データの記録を継続します。

削除を実行するのは、測定開始時に空き容量が 30MB 未満、また測定データ記録後に空き容量が 100MB 未満となった場合です。

【ご利用の前に】

運用目的を充分にご確認の上、測定データ上書き機能を ON にするか OFF にするか、選択することをお勧めいたします。

●上書き機能のメリット

TP-8800 を併用する場合も含め、長期の使用において、測定データ上書き機能を ON にすることで、SD カードの容量不足による測定停止をすることなく運用できるようになります。

●上書き機能のデメリット

意図せず設定を ON にして運用すると、SD カードの空き容量が不足した際に古いデータが削除されます。古いデータを削除せずに保持させておきたい場合、測定データ上書き機能を OFF に切り替える必要があります。

●新しい FW と古い設定ファイルの組み合わせで測定開始した場合

「測定データ上書き機能 ON」が初期値として設定されます。

上書きさせたくない場合は測定データ上書き機能を OFF に切り替える必要があります。

測定停止し、本体の Config メニューから設定変更し、測定を再開してください。

●古い FW と新しい設定ファイルの組み合わせで測定開始した場合

古い FW に上書き機能の項目が含まれる設定ファイルを読み込ませると、起動直後に設定ファイルエラーと判定され、測定が開始されません。

エラーを回避するには、SD カード内の設定ファイルを PC 上でエディタで開き、「Data Overwrite=ON または OFF」の記述を削除する必要があります。古い FW の本体では、上書き機能の項目の削除操作はできません。

【設定】

測定設定 (Measurement) に「Data Overwrite」項目が追加されました。

設定は「ON、OFF」から選択します。

「ON」を選択することで、上書き機能が有効になります。

「Data Overwrite」項目が含まれない設定ファイルを使用した場合は、初期値として「Data Overwrite=ON」が設定されます。

【操作】

本体の Config メニューの Measurement ページで ON/OFF の設定を切り替えます。

```
>CH#3 Resolution=24
>File Length=1min
>WIN-Address=0000
>Data Overwrite=ON
```

【注意】

1. 上書き機能のない ver.2.40 以前のファームウェアでは、上書き機能の項目が含まれる設定ファイルを読み込ませると、起動直後に設定ファイルエラーと判定され、測定が開始されません。

エラーを回避するには、SD カード内の設定ファイルを PC 上でエディタで開き、「Data Overwrite=ON または OFF」の記述を削除する必要があります。古い FW の本体では、上書き機能の項目の削除操作はできません。

2. 測定データの削除処理は最大で 5 分間行います。その間に削除しきれなかった場合は、次の測定データ記録完了時に再度削除処理が行われます。

3. データの削除処理中は、SD カード交換ができません。
4. 測定データの記録間隔を 1～10 分に指定した場合、測定中にデータ削除処理時間は、最大で記録間隔の 1/4 となります。たとえば 1 分と指定すると、削除処理時間は最大で 15 秒、10 分と指定すると、削除処理時間は最大で 2 分 30 秒です。
5. TP-8800 は、最新 FW(ver.1.16)も、上書き機能に対応していません。
TP-8800 からの上書き機能の設定編集ならびにイベントログでのデータ削除実施確認はできません。次回の FW リリースでの対応を予定しております。

以上